

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		総合賠償保険事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健全		所属部	総務部	課長名	坂井 竹志
	施策	3	持続可能な財政運営		所属課	総務課	担当者名	村中 美穂
	業務分野	13	財政事務の適正な執行		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1226
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11109	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	市が所有・使用・管理する施設に原因がある事故や、市の業務遂行上の過失による事故について、その損害を補償する総合賠償補償保険に伴う事務事業である。 合併前から2町とも加入しており合併して市となった後も継続して(市長会ではなく)町村会の保険に加入している。 保険内容は①賠償責任保険②個人情報漏洩保険③サイバー保険④予防接種事故賠償保障保険⑤補償保険⑥公金総合保険の6つにより構成されている。 ①は市に過失がある場合に損害を賠償するもの、⑤はボランティアや行事等の参加者が被った事故について、一定額の見舞金を支払うものである。
【業務の流れ】	毎年度、5月に加入手続きと加入金の支払いを行う。事故が発生した場合、町村会に保険の対象になるかどうかの問い合わせを行い、対象になる場合は町村会を介して保険会社と連絡を取り事務手続きを行う。 被害者との交渉・手続等は担当課で行うため、担当課と町村会の間に入り、問い合わせや書類提出等を行う。 また、「実際に事故は発生してはいるが、こういったケースには保険の対象になるか」等の各課からの問い合わせに対応し、町村会に確認を行う。
【主な予算費目】	役務費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

新規で事故9件の申請があった。前年度からの継続は1件。対応を終了した案件は10件。賠償・補償額は1,042,639円。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

事故発生時の町村会への問い合わせ・事務手続きや担当課との調整等

③予算の主な増減の理由

人口増に伴う総合賠償保険料(役務費)の増

成果指標

ア 当年度に発生した事故について対応が完了した割合

(単位)

データ取得方法

→イウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	100	75	100	100	100	100	100	100
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	6,680	6,756	6,787	6,787	7,064	7,156	7,248	7,340
(A) 事業費計	千円	6,680	6,756	6,787	6,787	7,064	7,156	7,248	7,340

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

事故等が発生した場合の報告を各課及び地域の区長に周知し、事務処理が迅速に行えるよう連携を図る。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)